2026 年 11 月 4 日
一般社団法人日本損害保険協会 中国・四国支部

広島大学に共催して防災・減災セミナー2026 を開催

～災害への備えを学び、実践に繋げる～

日本損害保険協会中国・四国支部(委員長：藤中 麻里子・損害保険ジャパン株式会社 執行役員)は、2026 年 10 月 25 日(日)、広島大学防災・減災研究センターに共催して「防災・減災セミナー2026」を開催しました。当日は、防災関係者や地域住民、学生など約 80 人が参加しました。

はじめに、気象予報士の近藤 志保 氏から新たな防災気象情報の内容や、情報を適切な避難行動につなげるためのポイントについて解説がありました。続いて、広島大学大学院人間社会科学研究科の熊原 康博 教授から、広島県内に残る石碑を手掛かりに過去の災害を振り返るとともに、ハザードマップに表れにくい災害リスクについて説明がありました。最後に、同研究科の後藤 秀昭 教授から、中国・四国地方の活断層の特徴や、沿岸部における地震災害のリスクについて解説がありました。
閉会にあたり、当支部の藤中 麻里子委員長から、「そんぽ防災 WEB」や「そんぽデジタル・マイ・タイムライン」をはじめとする当協会の啓発ツールを紹介し、日頃から災害への備えを進めることの重要性を呼びかけました。

当支部では、今後も大学や行政などの関係団体と連携し、防災・減災の取組みを推進してまいります。

【セミナー概要】

第 1 部「新たな防災気象情報から繋げる避難」
(講師) ㈱中国放送 気象予報士　近藤 志保 氏

第 2 部「石碑からたどる広島県の災害史」
(講師) 広島大学大学院人間社会科学研究科 熊原 康博 教授

第 3 部「中国・四国地方の活断層と沿岸の地震災害」
(講師) 広島大学大学院人間社会科学研究科 後藤 秀昭 教授


近藤氏の講演


熊原教授の講演


後藤教授の講演


会場の様子


藤中委員長の閉会挨拶